

## アトサヌプリの火山活動解説資料(平成26年11月)

札幌管区气象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
平成19年12月1日に噴火予報(平常)を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

### 活動概況

- ・噴気などの表面現象の状況(図1- 、図2)  
F1噴気孔群及びF2噴気孔群の噴気の高さは火口上概ね200m以下で、噴気活動は低調に経過しました。
- ・地震及び微動の発生状況(図1- )  
期間中の火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。  
火山性微動は観測されませんでした。  
14日4時47分に、アトサヌプリの北東約7km付近でマグニチュード4.2の地震が発生し、弟子屈町サウンチサップで震度3を観測したほか、同日5時42分にも震度2を観測する地震が発生しました。これらの地震発生前後で火山活動に変化はありませんでした。
- ・地殻変動の状況(図1- )  
GNSS連続観測<sup>1)</sup>では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

1) GNSS(Global Navigation Satellite Systems)とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は札幌管区气象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号 平23情使、第467号)。

次回の火山活動解説資料(平成26年12月分)は平成27年1月13日に発表する予定です。

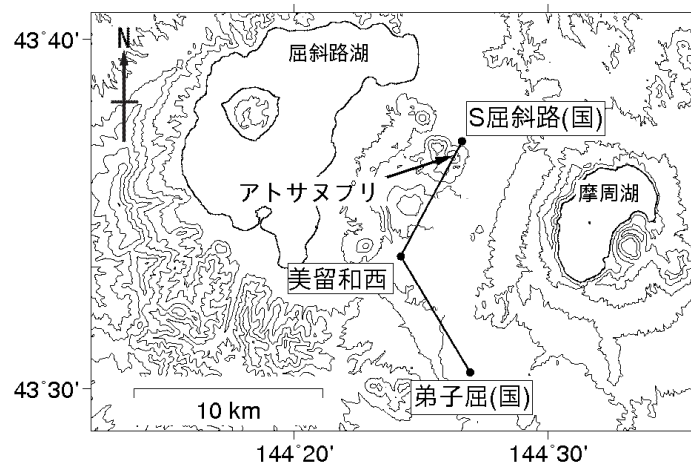
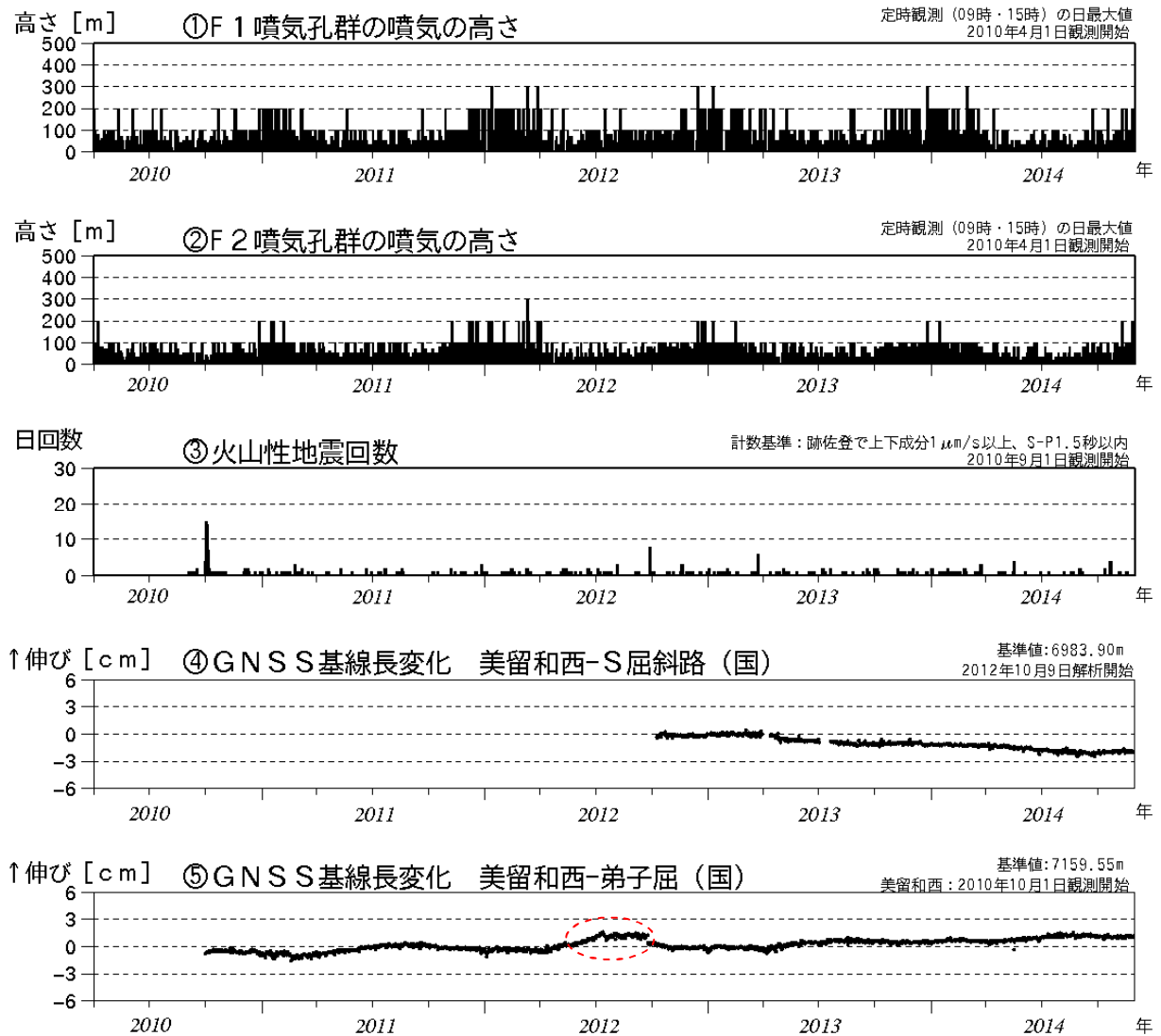


図1 アトサヌプリ 火山活動経過図(2010年4月~2014年11月)及びGNSS連続観測点配置図

- ・ GNSS基線の (国) は配置図の (国) に対応しています
- ・ GNSS基線の空白部分は欠測を示します
- ・ (国) の赤破線円内の変化は、弟子屈(国)付近の樹木の影響及び伐採(2012年9月下旬)によるものです
- ・ (国): 国土地理院



図2 アトサヌプリ 北東側から見た山体の状況  
(11月24日、北東山麓遠望カメラによる)

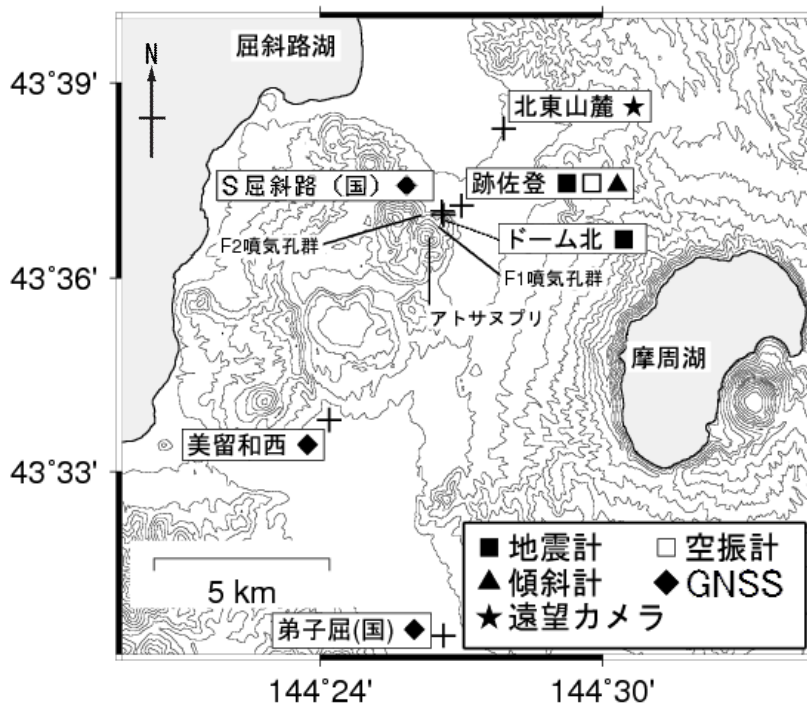


図3 アトサヌプリ 観測点配置図  
+印は観測点の位置を示します  
気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています  
(国): 国土地理院